

不動産ご購入者様のパートナー『総合 FP 事務所の株式会社 FREE PEACE』が発行しています。

投資を始める前に知っておきたい考え方

「老後 2000 万問題」が騒がれていることから分かるように、資産形成はみなさんの関心事です。資産形成について頼るなら銀行や証券会社、保険会社等が挙げられます。他にもセミナーや YouTube から情報を得ることもあるでしょう。しかし相談先によって提供される情報・サービスは異なります。なぜならどこも自社のサービスを利用してもらいたいからです。ここでは、中立的な視点で投資について説明していきます。

・VUCA 時代とは？

「VUCA」とは変動 (Volatility)、不確実な (Uncertain)、複雑な (Complex)、曖昧な (Ambiguous) の頭文字を取っています。時価総額の大きい 100 社によって構成されるナスダック 100 に属する銘柄の中で、2003 年と 2023 年に上位 15 社に位置している共通の企業はマイクロソフトの 1 社のみであることから分かるように、ここ 20 年で社会は大きく変化しました。そのため将来予測は困難です。また、新型コロナの流行やウクライナ侵攻、イスラエル情勢等によって世界情勢の変化も激しいです。

・勘違いしがちな言葉

将来予測の難しい時代に「投資」と聞いて怖いイメージをお持ちの方がいらっしゃるかもしれませんが、それは短期的な利益追求を意味する「投機」を指している場合がほとんどです。投資と投機は意味が異なり、投資は中長期的な資産運用を指します。また、「リスク」というのも資産形成の話の中では変動幅を表します。つまりリスクを絶対に避けなければならないのではなく、どれだけ許容するかが重要です。投資には負担とリスクを軽減させる「長期投資」、投資対象を分けることで損が一極集中してしまう可能性を避け、リスクバランスをとる「分散投資」、市場の動きにとらわれず継続することで利益を得る「積立投資」の 3 つのポイントがあります。

・かしこい資産形成方法

手元のお金を増やす方法は、収入を増やすか支出を減らすかの 2 択です。そして支出を減らす簡単な方法があります。ズバリ「家計簿をつける」ことです。日々使っているお金の出入りを管理することで無駄な部分を把握でき、削減することで支出は容易に減ります。

さらに、資産運用では「分散」を意識するのが重要です。投資対象として株式や債券を含む金融資産と、宝石や美術品、不動産を含む実物資産を組み合わせた多極分散型の投資や、資産の持ち方も円だけでなくドルやユーロに分ける方法があります。加えて、守る資産と安定的に増やす資産、積極的に増やす資産のアセットアロケーション (資産配分) を考えることでリスクが減り、余裕のある資産形成ができます。

【小板橋の視点】

投資をする上で「投資の目的」は明確にしましょう。目的を整理することで時間軸と取るべきリスクも明確になります。また、情報が溢れる VUCA 時代の投資では信頼できる相談相手が必要になるでしょう。資産運用パートナーを選ぶ際にはサービス体系、手数料体系、選択肢の幅、情報の鮮度と経験の深度を基準にするのが良いと思います。

株式会社 FREE PEACE

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビルディング 15 階

TEL : 03-6258-1131 FAX : 03-6258-1132 URL : <http://free-peace.co.jp>

2011 年 4 月より活動を開始し、皆様のお陰で現在では年間 組を超える住宅購入相談実績をもつ企業に成長致しました。今後もお客様をサポートする最良のパートナーである事を約束します！！